



“クマ出没注意報発令中” ツキノワグマに注意しましょう

先週、南信州管内においてツキノワグマによる人身被害が発生しました。例年8月は、里地でツキノワグマが数多く目撃されていますので、出会わないための対策をお願いします。

クマの出没状況

（里地での目撃状況（南信州管内））

- ・令和6年7月15件*（同月比較 令和5年 9件の1.7倍）

*：7月30日時点の速報値

（長野県内の人身被害の状況）

- ・令和6年度 6件（南信州管内1件）

県民の皆様へのお願い（対策の徹底）

- ・林縁部はクマの行動範囲です。朝夕、林の近くでの散歩、ランニング（不急の活動）は控えてください。
- ・林の近くや山に行く時は、遭遇リスクを軽減させるため、クマ鈴やラジオで大きな音を鳴らして、複数人で行動してください。
- ・住宅周辺のヤブを刈り払いましょう。
（クマとの遭遇距離を取ることで殆どの事故を防げます。）
- ・クマの出没が過去に確認されている場所には近づかないでください。
- ・生ごみの適切な処理、農作物の畑地の周囲での電気柵設置など、クマを寄せ付けない対策をお願いします。

別紙資料もご参照ください。

全県でのクマ出没注意報の発令期間

令和6年6月5日（水）から**8月31日（土）**まで

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン 3.0

～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

[長野県総合5か年計画推進中]

（問合せ先）

南信州地域振興局

林務課林務係 竹村、（担当）武井

電話 0265-53-0423（直通）

FAX 0265-23-3393

E-mail minamichi-rimmu@pref.nagano.lg.jp

夏のクマに注意！

○ 夏は、山の食べ物が少なくなります

この時期のクマは、山でサクラやクワなどの果実のほか、アリやハチなど、一度に多く食べることでできる社会性昆虫をエサにしています。特に夏の終わりごろは端境期で1年のうち最も食べ物が少なくなるため、人里近くに出没し、農作物に被害を出すことがあります。

○ 夏は、ツキノワグマの交尾期にあたります

6～8月頃にかけてはクマの交尾期にあたります。通常、クマは単独行動ですが、オスとメスが共に過ごすことが多くなります。また、1～2歳の子グマは母グマと別れて暮らし始めます。

○ 夏は、若い個体が人里に近い低標高域で活動します

高山植物を食べるため、山を登って高標高域で生活するクマ（主に成獣オス）がいる一方、比較的若い個体は山を登るクマを避け、低標高域で行動することが多くなります。このようなクマも人里に近づく可能性が高まります。

クマと遭遇しないよう下記のことにご注意してください。

◇ クマ鈴、ラジオ、笛などを携帯する

クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。人の気配を感じたクマは自ら避けてくれます。クマ鈴、ラジオ、笛など音の出る物を鳴らしながら行動しましょう。

◇ 朝夕の行動は避け、複数人で行動する

朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に不急の用事で林内に入ることは避けましょう。また1人ではなく、複数人で行動しましょう。

◇ 周囲を確認しながら移動する

釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがありますので注意が必要です。

◇ クマのいる場所に近づかない

山中はクマの生息地で、どこにいてもおかしくありません。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

◇ 子グマを見たら立ち去る

子グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマを守るために、人へ攻撃することがあります。子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう。

◆ 里地にクマを寄せ付けない対策を

住宅周辺のヤブを刈り払う、トウモロコシやブルーベリー、モモなどを栽培している畑や果樹園等の周囲には、電気柵を設置するなど、クマを寄せ付けない対策をとりましょう。また生ゴミもクマのエサです。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、人に見つかることを恐れなくなるなど、人身事故の可能性が高まります。